

【感染防止のための基本事項】

- 1 感染リスクが高くなると考えられている①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）のいわゆる「三つの密」を回避するために次の2点に留意してください。
 - (1) 人との接触を避け、対人距離を確保できるようにしてください。（1m以上、できるだけ2m）
※ホールや会議室等では、四方を空けた席配置を心がけてください。
 - (2) 利用者数の制限を設けるようにしてください。
（目安）屋内：100 人以下、かつ収容定員の半分以上の参加人数
屋外：200 人以下、かつ人と人との距離を十分に確保できること（できるだけ2m）
- 2 感染リスクを軽減させるために、県外からの利用者の自粛を強く求める。
- 3 適切な感染防止対策としての咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒、室内の換気等を徹底してください。

【利用者の方に留意していただく事項】

- (1) 参加者の体温管理や衛生管理（マスク着用や手指消毒の奨励）を実施してください。
※37.5 度以上の発熱（または平熱比1 度超過）の場合は参加を自粛いただくようにしてください。
- (2) 利用者に対して、入退場時の制限や誘導や待合場所等における密集の回避へのご協力、イベント前後の交流の場等を極力控えるようにしてください。
- (3) 事前に密集状況が生じないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑緩和に努めてください。
- (4) 利用者同士が大声で会話したり声援したりしないように注意してください。
- (5) 参加者の名簿を作成し連絡先等を把握して、感染拡大防止等に寄与するようにしてください。
- (6) バスでの送迎がある場合は、密集しないように人数制限して運行するようにしてください。

【施設ごとの利用に際して留意すべき事項】

《多目的ホール・展示場・会議室等》

- (1) 開催する催し物（イベント）については、大声での発声、歌唱等を伴わないものに限定します。
- (2) 参加人数については、各施設の設けた制限人数内としていただくとともに、滞在時間についても長時間にならないよう配慮をお願いします。
- (3) 対面しない横並び着席（座席レイアウトの変更）を推奨いたします。

《スポーツ施設》

- (1) 対人接触を伴う競技の利用を控え、また、活動中の発声を控えてください。
※競技の特性として対人接触がプレー中に当然含まれるものは、当分の間、利用を禁止します。
（例：柔道・剣道等の格技、レスリング、ボクシング、バスケットボール、サッカー等）
※上記に該当しない競技であっても、「三つの密」の回避や常時換気が行える環境等で実施することを条件とし、この条件が満たせない場合は、利用を控えていただくこととします。
- (2) 利用は事前予約に限るとともに、利用目的や人数等を確実に把握するようにしてください。
- (3) 更衣室、シャワールーム等の利用時における人と人との接触を避けるよう、人数制限や時間間隔をあけるなどの工夫をしてください。